

はむら市議会だより

No. 97

(通巻No.206)

平成25年5月15日発行
羽村市議会
〒205-8601
東京都羽村市
緑ヶ丘5丁目2番地1
☎ 042(555)1111
ホームページアドレス
http://www.city.hamura.tokyo.jp/

羽村市議会 検索



▲これでいいのかな (赤ちゃん人形で沐浴に挑戦する夫婦・4月に保健センターで行われた両親学級で)

第1回(3月)定例会

一般質問 市政を問う(15人の議員が一般質問)	2ページ
審議した主な議案と議決結果	12ページ
平成25年度予算を可決しました	16ページ
一般会計予算の概要と質疑応答	16ページ
一般会計予算に対する意見	18ページ
特別会計等予算に対する意見	20ページ
市議会の主な活動、新議員紹介	22ページ

ご利用ください インターネット録画中継

羽村市議会の本会議の様子が、インターネットでご覧いただけることとはご存知ですか？
忙しくて議場で傍聴することが難しい、議会がどんな感じなのかちょっと見てみたい、出席者の発言の内容をもう一度確かめたい...。市民の皆様のご希望にお応えできるのが、インターネット録画中継です。
昨年9月定例会から実施、実際の本会議の日から3日後にご覧いただけます。過去の本会議も見ることもできます。実施日ごとや議員ごとに見ることもできます。

【ご利用方法】
「羽村市議会」を検索し、羽村市公式ホームページの中の「羽村市議会」から、「市議会インターネット中継」へと進んでください。
「不明の点、お気づきの点などございましたら、議会事務局までご連絡ください。羽村市ホームページにもご意見等を書き込むことができます。」

■羽村市議会事務局
042(555)1111
(内線4125414)
【FAX】042(555)0889

羽村市議会 検索

あなたも議会議を傍聴してみませんか？

次回の定例会は6月です。

請願・陳情の提出は、5月29日までをお願いします。

今後の議会の予定

6月定例会

6月10日(月)	本会議(初日)
11日(火)	本会議
12日(水)	本会議
13日(木)	本会議
19日(水)	常任委員会
20日(木)	常任委員会
27日(木)	本会議(最終日)



▲編集委員(後列左から：富永委員、鈴木委員、大塚委員、濱中委員、山崎委員
前列左から：石居委員長、富松副委員長)

編集後記

当編集委員会は2年ごとに入れ替わりですが、現在のメンバーでの発行は今号が最後となります。毎回の編集会議では、どうしても質疑の内容が正確にわかりやすく伝えられるかに心を砕きながら取り組んできました。個人的には他の議員の質疑を丹念に読むことが、新たな発見や貴重な勉強の場となりました。
次号からは新しいメンバーによる議会だよりを引き続き皆様のお宅へお届けします。ぜひ紙面をめくり、お読みいただければと思います。そのことが、市議会を生き生きさせ、ひいては暮らしやすい羽村市につながると確信します。
(鈴木記)

【編集委員】
石居 尚郎 富松 崇
富永 訓正 鈴木 拓也
大塚あかね 山崎 陽一
濱中 俊男

第1回定例会 一般質問

市政を問う

議員名	頁	議員名	頁
大塚あかね	2	橋本 弘山	7
小宮 國暉	2	富松 崇	8
石居 尚郎	4	鈴木 拓也	8
濱中 俊男	4	水野 義裕	9
富永 訓正	5	門間 淑子	10
西川美佐保	6	馳平 耕三	10
中嶋 勝	6	山崎 陽一	11

平成25年第1回羽村市議会(定例会)を、2月26日から3月18日までの21日間の会期で開催しました。開会初日には、市長から、市政についての施政方針演説がありました。2月26日、27日、28日には、14人の議員が一般質問を行い、市長の考えを問いました。
※質問・答弁は、内容を要約して掲載しています。

おおつか
大塚あかね 議員
(民主党)



- ◇公園トイレの洋式化を進めよう
- ◇食育研究指定地区の研究について
- ◇フィルムコミッション事業の今後

公園トイレの洋式化を進めよう

公園のトイレはあらゆる世代の方や障がいをお持ちの方が安心して利用できるよう、国のガイドラインに

沿って洋式化や手すりの設置、整備等を進めていくべきではないか。

質問 公園のトイレの洋式化の計画と目標値について何う。

市長 現在、市内公園のトイレの洋式化率は21・8%。国は平成32年度までに公園トイレの洋式化率を45%としているので、市もこの数値を目標に取り組んでいく。

質問 修繕、改築時に逐次、洋式化と手すりの設置を進めてはいかがか。

市長 (仮称) 双葉町公園に「だれでもトイレ」を設置する等、順次、洋式化と手すりの設置を進めてきた。今後、地域要望や利用者の多い公園トイレから、計画的に改修していく。

質問 研究の成果について何う。

教育長 稲作体験と関連付けた授業モデルの開発、授業公開、給食組合と連携を図った体験型の授業等を展開し、児童・生徒に食に関する関心や意識を高めることができた。

食育研究指定地区としての研究は今後どのように活かされるのか

市長 平成25年度、市は東京都の食育研究指定地区の指定を受けた。

質問 研究の内容に「地産地消の推進」とあるが、農業生産者の意見を聴く、児童生徒に地場野菜の旬を教える等の取り組みは図られているのか。

教育長 年2回の意見交換会等でご意見を聴き、旬の指導は栄養士の学校訪問や献立表を活用し行っている。

※多機能便所…利用者のニーズに応じた多機能便器を備えた便所。



▲(仮称)双葉町公園の「だれでもトイレ」

こみや くにあき
小宮 國暉 議員
(新しい風)



- ◇地下水と水道水源の維持保全を
- ◇公園施設の計画的維持管理の取り組みを

地下水保全と

水道水源の維持保全について

羽村市は良質な飲料水供給事業として、昭和41年から根がらみ前水田付

近を水源とした独自の水道事業を展開している。埼玉県や長野県佐久市で水資源、地下水保全に関わる条例を制定しており、羽村市でも今後の水資

源の保全と水道事業の危機管理を考えた場合、条例制定への取り組みが必要と考え以下何う。

質問 地下水の保全について、どのように取り組んでいく考えか。

市長 水質汚染防止対策として、公共下水道に接続する排水設備を適正に設置するための指導や確認を行うとともに、工場排水等の規制や改善指導等により水質の保全に努めている。

質問 水源施設の危機管理として、地震や浸水等で大きな被害を被った場合の対策は。また停電が発生した時の対応・対策は。

市長 3か所ある取水施設のうち、2か所以上が被災し取水不能となった場合、初動対応として配水池等の貯留水での給水を行いつつ復旧に当たる。復旧に時間を要する場合、都からの分水を受け給水を継続していく。停電発生時はすべての取水施設が非常用自家発電設備からの電力供給に自動的に切り替わり、取水ポンプの運転を継続することが可能である。



▲多摩川近くにある第3水源